

BLUE & GREEN

ART PROJECT 2020

10 / 25
sun

〈ライブ配信〉

シンポジウム&ファッションプレゼンテーション

海と陸の結婚

旧文洋小学校 + 東後畑棚田
(長門市油谷)



- 13:00
棚田でのパフォーマンス
- 14:30
開場 (招待者のみ)
- 14:50
オープニング・配信開始
- 15:00
シンポジウム
- 16:30
ファッションプレゼンテーション

録音：安倍昭恵 水谷由美子 山口県立大学企画デザイン研究室
主催：やまぐち国際・地域文化フォーラム実行委員会
助成：公益財団法人東芝国際交流財団 山口県立大学 岡崎富夢
後援：長門市
協力：NPO 法人 ゆや棚田景観保存会 株式会社 tys ビジョン
サロン・ド・エミール 東亜大学 芸術学部 トータルビューティ学科
山口県立大学メディアデザイン研究室
株式会社エムロード / FUSEGU (フセグ)

問い合わせ先
やまぐち国際・地域文化フォーラム実行委員会事務局
(山口県立大学国際文化学部事務局 担当：水谷)
〒753-0021 山口県山口市桜島 6-2-1
Tel : 083-929-6258

ライブ配信
アーカイブ配信も同様



<https://www.youtube.com/channel/UCFxieduDWFhrHQ3kliehs0g>

BLUE & GREEN ART PROJECT 2020 海と陸の結婚

やまぐち国際・地域文化フォーラム実行委員会は、アグリアート・フェスティバル実行委員会とともに、グローバルな視点に立ち、長門市をフィールドとして地域課題に取り組んできました。今年度からブルー&グリーンアートプロジェクトBGAPを開始します。

地域の里海や里山は、それぞれが繋がって守られることで、相互に豊かな自然が維持され、人間や動植物にも恵みがもたらされます。そこで、今回は「海と陸の結婚」をテーマにします。

近年では少子高齢化による里山の荒廃や海洋(マイクロ)プラスチックゴミによる海の汚染が、世界規模での課題となっています。長門市油谷でも例外ではありません。かつて山全体を覆っていた棚田は縮小されています。幸いなことに現在、自然栽培米の生育、ハーブやコスモスの畑作りが行なわれ、少しずつ棚田は回復しつつあります。油谷湾では塩作りがされています。そのため海辺や海洋の環境問題が取り組まれています。

我々の実行委員会では、これらの活動に参画させて頂き、地域課題を体験的に学びながら、近未来に向けた生活スタイルや価値についての提案としてファッションの分野から挑戦をします。

また、海や山の自然保護や文化、産業の視点から課題解決に取り組んでおられる全国の代表的な方々をお招きして、対面あるいはオンラインでシンポジウムを開催します。今回は御存知のようにCOVID-19の影響により、お客様をほとんどお招きできません。それ故に、YouTubeを通じてライブ配信をします。また後からもご覧頂くことが可能です。皆様それぞれの場所から、私たちのメッセージを受け取って頂き、それぞれの立場から行動に移して頂ければ幸いです。

企画・運営・コメンテーター

安倍 昭恵 AKIE ABE



聖心女子学院幼稚園から高等学校卒業。聖心女子専門学校英語科卒業。立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科修了。株式会社電通新聞局を経て1987年安倍晋三氏と結婚。趣味は、ランニング、ゴルフ、お米づくり。2006年から山口県立大学企画デザイン研究室と共同開発を開始し、2013年からファッション創造による農業振興および地域活性化の活動を継続的に実施している。2018年から山口県立大学大学院国際文化学研究所非常勤講師。

企画・デザイン・モデレーター

水谷 由美子 YUMIKO MIZUTANI



山口県立大学国際文化学部長・教授

やまぐち国際・地域文化フォーラム実行委員長。三重県生まれ。お茶の水女子大学大学院修了。ヘルシンキ芸術デザイン大学(現アールト大学)客員教授。山口の地域資源を活かし、服飾デザインを通して、地域のブランディングや商品開発について産学公連携による研究創作及びフィンランドのラップランド大学やハワイ大学マウイカレッジと共同研究を行う。また、サービスデザイン手法を取り入れ、サステナブルなデザインアプローチを行う。

パネラー

島山 重篤 SHIGEATSU HATAKEYAMA



NPO 法人森は海の恋人 理事長

京都大学フィールド科学教育研究センター

1943年中国上海生まれ。県立気仙沼水産高等学校を卒業後、家業の牡蠣養殖業を継ぐ。海を守るには海に注ぐ川、さらにその上流の森を守るこの大切さに気付き、漁師仲間と共に「牡蠣の森を慕う会」を結成(2009年、NPO 法人森は海の恋人を設立)。1989年より気仙沼湾に注ぐ大川上流部で、漁民による広葉樹の植林活動「森は海の恋人運動」を行っている。同時に、子どもたちを牡蠣養殖場へ招き、海の体験学習を続けている。東日本大震災で牡蠣養殖施設等の全てを失うが、震災直後より、震災後の自然環境を活かした地域づくりを展開している。

小橋 賢児 KENJI KOHASHI



The Human Miracle 株式会社

代表取締役 / クリエイティブディレクター

1979年東京都生まれ。88年に俳優としてデビュー、数多くの人気ドラマに出演。2007年に芸能活動を休止後、『ULTRA JAPAN』のクリエイティブディレクターや『STAR ISLAND』の総合プロデューサーを歴任。500機のドローンを使用した夜空のスペクタクルショー『CONTACT』はJACE イベントアワードにて最優秀賞の経済産業大臣賞を受賞。キッズパークPuChu!のプロデューサーなど、イベントや都市開発の企画運営に携わる。

井上 雄然 YUZEN INOUE



1972年生まれ。大手企業などに務めるが脱サラ。経済と環境問題の狭間で生き方に疑問を感じ、楽しく生きられる最低条件は農・食・遊だと気づく。以来自然豊かな田舎に移り住み百姓になる。

1997年 豊田町で田舎暮らしをはじめ「百姓庵」を主宰。2000年 オーストラリアに渡り、牧場の勉強のため8つの農場を回る。その後、アジア各国を回り、アジアの文化・農法・生活術に強く影響を受ける。

2002年 油谷島に出会い移り住む。

2004年 アジアンテイストの百姓民宿「百姓庵」を始める。

2007年 塩の製造販売を始める。大規模清掃活動「ビーチクリーン大作戦」を始める。

2008年 塩の話や生き方の話の依頼を受けるようになる。

2017年 百姓庵を株式会社化

2019年 Dining bar Zen オープン

現在は過疎化が加速している向津具半島の活性化に向けて活動中。

坪内 知佳 CHIKA TSUBOUCHI



株式会社 GHIBLI 代表取締役および船団丸代表

2010年に知見のなかった漁業の世界に飛び込み、約60人の漁業者をまとめ萩大島船団丸代表に就任(現;株式会社GHIBLI)。漁師集団とともに、漁協との調整や出荷ルート確保、販路開拓までを手がけ、2015年より全国展開を開始し、山口、高知、鹿児島、北海道、千葉に船団丸ブランドを展開中。

日本政策投資銀行(第4回女性企業家ビジネスプランコンテスト・地域未来賞) 日経WOMAN(ウーマンオブザイヤー2014)、日経ビジネス2017年「次代を創る100人」、Forbes Under 30、スイス銀行からも表彰され、日本の地方創生のため、势力的な活動を続けている。著書:『荒くれ漁師をたばねる力』

招待デザイナー

天津 憂 YU AMATSU

ワークショップ参加デザイナー

Ana Nuutinen Heidi Pietarinen

ラップランド大学芸術デザイン学部教授

コ・クリエイター

田村 未奈美 MINAMI TAMURA

下川 まつゑ MATSUE SHIMOKAWA

企画・運営・デザイン

企画デザイン研究室

山口県立大学国際文化学部文化創造学科4年

角谷優華 藤本めぐみ 本田真悠 井田有紀 矢吹穂衣 林于玲

山口県立大学大学院国際文化学研究所

田村奈美 山本成美